資　料

防府市工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

防府市の工業用水道事業は，昭和35年1月塩田整備特別法によって廃止された広大な塩田跡地の利用や海岸埋立てによる工場用地の造成などにより，新規産業の誘致促進と市内既存工場の増設育成を通じて市勢の発展を図るため，工業用水道の建設が計画された。

○事業の経緯

市内既存工場は，それぞれ佐波川に伏流水水源を求めて自家用水道施設により用水を確保していたが，あいつぐ工場の拡張及び生産量の増加に伴い，水需要は急増し，昭和37年4月に協和発酵工業防府工場より，市営水道による給水の要請があった。当時本市水道事業は，第１期拡張事業に伴う第３水源地（現　地神堂水源地）を計画していたので，これを早期に完成させて余剰水の給水で当面の需要をまかない，直ちに市営工業用水道の建設について具体的な検討に入った。

防府市の工業用地は，塩田跡地，海岸埋立造成地及び農地転用可能地を加えると約1,000万m^2となるが，これに進出する大型企業等への給水については，佐波川からの取水による県営工業用水道にゆだねるものとし，既設工場及び関連企業への給水については1日最大給水量30,000m^3の市営工業用水道の建設により給水することになり，この計画は昭和38年12月21日に市議会議員全員協議会に報告された。

しかしながら，昭和39年４月に着手したこの工事は，昭和40年度に当初計画どおり取水井を２井増やし日量30,000m^3とする工事を予定していたが，現在の日量20,000m^3の取水により，周辺の水田への減水影響が生じ，また防府平野の全般的な地下水位低下の悪条件も重なり，関係各所との協議にも同意が得られず，昭和41年８月計画給水量日量30,000m^3を日量20,000m^3に変更するための工業用水道事業変更届出書を提出した。

○需要者の概要

（平成19年３月末現在）

業　　種	給水件数	契約水量（m^3/日）
食品・医薬品	1	15,000

○工業用水道施設の概要

航空自衛隊防府北基地飛行場内に水源を求め，昭和39年４月工事に着手，取水井５井の築造及び配水管口径500mmダクタイル鋳鉄管4,103ｍの埋設，また飛行場北側に用地を求め運転管理室（現　大塚水源地）の建設など総工費112,000千円で施工，同年11月１日から協和発酵工業防府工場へ日量20,000m^3の供給を開始した。

平成４年に築28年を経過した大塚水源地は，老朽化が激しく，電気室と電気設備等の全面改良を行い，平成６年には，非常用発電設備をディーゼルエンジンからガスタービンエンジンに変更し，停電時には迅速に稼動できるよう改良した。

また，スクレーパーと呼ばれる長さ2m程度の器具を送水管の中に挿入し，水圧で推進させることにより管内のクリーニングを行なう工事を定期的に行い，安定した給水を行なっている。

○事業の特徴

給水開始当初から協和発酵工業防府工場1企業による責任水量制で運営している。

○防府市水道局のホームページアドレス

http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/suidoukyoku/index.htm

○工業用水道給水区域図